



Rotary Club of Mishima-South Weekly Report

三島南
ロータリー
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



三島南ロータリークラブ 会長 古屋 憲男
クラブ会長基本テーマ 「原点を学ぶ」

第884回例会 2007.11.30(金)曇り

司会：遠藤正亀君 指揮：石井邦夫君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

会長挨拶

三島南ロータリークラブ 会長 古屋憲男君

11月21日出発25日帰りの3泊4日の日程でタイのアムナードチャルーン地区の小・中学生に日本の放置自転車の贈呈式に行きまいりました。

本年度世話人の根津さん大変ご苦労様でした、また、贈呈式に参加してこのプロジェクトを盛り上げてくださった皆様ありがとうございました。

そして、全会員の皆様には補助金を負担していただき、全員の参加事業として、立派な国際奉仕が出来た事に対し団長として心からお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

今年のRI会長のテーマが「ロータリーシアーズ」です。真にこの事業は、国境をまたいて三島南・スリウォン・アムナードチャルーンロータリークラブの三つのクラブがわかちあいの奉仕により実現出来た国際奉仕事業だと改めて感じました。

式典が終わり、集まった児童達が配給された自転車を、操作する時見せた素晴らしい笑顔は参加した一人として感動的なものでした。

この事業は、来年も実施するという事で参加者の中からも来年に向けての計画について会話も弾んでおりました。来年はこの事業が3年継続事業としての節目の年でも有り、我が南クラブの20周年年度でもありますので、出来るだけ多くの会員の参加で達成感の共有が出来たらと思います。

スリウォンロータリークラブの皆様は、創立から7年、22名の会員数で有りながら、この事業は今回が54回目であり、他には半田南RCとのナマズの養殖支援や、児童図書館の書籍への寄贈等、幅広い活動をしているとの事でした。その団結力の強さと苦勞を惜しまない活動に改めて感心させられました。

帰りに40歳前後の藤堂さんという会員の乗用車で送っていただいた時、フロントガラスに大きなロータリーマークが貼ってありましたので、それについて聞いたところ、その方曰く「これが結構有効なんですよ」と誇らしげに話してくれました。これは、継続的な地域貢献が警察や行政に認められ、その存在価値が知れ渡っている証拠だと感じ、ロータリークラブのあるべき姿が実現出来ている表れだと感心させられ、大変勉強に成りました。

幹事報告

1. タイ自転車贈呈式御苦労さまでした。
2. GSEの報告書が出来上がってきております。順番にテーブルに回しますので見てください。
3. 12月・1月例会変更のお知らせ

三島ロータリークラブ

12月	19日、21日(金)	忘年家族会
	26日	特別休会
1月	2日	祝日休会
	9日、11日	合同新年会

伊豆中央ロータリークラブ

12月	18日	クリスマス家族会
	25日	特別休会
1月	1日	祝日休会
	15日、11日	合同新年会

三島西ロータリークラブ

12月	20日	忘年家族会
1月	3日	祝日休会
	10日、11日	合同新年会
	31日	夜間例会 例会時間変

その他の例会は、通常例会です。

おめでとう

会員誕生日 11月25日 加藤正幸君

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	24/35	68.57%	31/35	88.57%
今回	26/34	76.47%	会員総数	36名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井司君、内田君、片野君、金澤君、
田中君、土屋君、山口雅君、山本章君

ようこそ
南クラブへ

ゲスト・ビジター

蔡飛君(米山奨学生)

スマイルボックス

兼子悦三君

タイ国での中古自転車贈呈式参加の皆様、ご苦労様でした。最後、帰国時には、ご心配をおかけしましたが無事帰国できました。

田中四史生君

タイ国自転車贈呈に参加くださいました皆様、ありがとうございました。世話人の根津さん、ご苦労様でした。盛大なうちにも、無事終了しましたのも、野中国際奉仕プロジェクト委員長の計画にクラブをあげてご理解、ご支援下さいました結果だと感謝申し上げます。セレモニーでの古屋団長も素晴らしいスピーチをしてくださいました。ありがとうございました。

中村徹君

今日は当院の決算の月で、土屋さんにはお世話になりました。早退します。

西原克甫君

11月20日誕生日には、お花のプレゼントありがとうございました。

西原克甫君

タイ自転車贈呈式、ご苦労様でした。団長の古屋さん、国際奉仕プロジェクトの野中さん、世話人の根津さん、お疲れさまでした。素晴らしい贈呈式でした。私は始めて参加させていただきましたので、特に、矢岸さん、田中さんにはお世話になりました。また、出発当初から咳が止まらずに困りました。根津先生には、お薬ありがとうございました。皆さんにお世話になりました。スマイルします。

望月保延君

11月17日(土)長男健太郎の結婚式を行いました。当日はお忙しい日程の中、会長、幹事をはじめ東京までお出でいただき、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

山田定男君

出張のため早退します。

委員会報告

親睦委員会

◆クリスマス家族例会のご案内◆

日時：12月21日(金)18時30分点鐘

会場：三島グランドホテル

会費：会員(全員登録)5000円

同伴大人 4000円

中・高生 2000円

幼児・小学生 無料

出欠：12月7日例会で

集金：12月7日例会から集めさせていただきます。

国際奉仕プロジェクト委員会

タイ国放置自転車贈呈式

三島南ロータリークラブ 会長 古屋憲男君
アムナートチャルーンRCのヴィリンダ会長をはじめ県知事や学校関係者、そして、地区ガバナーや各ロータリアンの皆様 こんにちは。

私は静岡県にいます三島南RCの会長を拝命させていただいております古屋憲男です。

今回奉仕プロジェクト委員会の小委員会であり、国際奉仕プロジェクト委員会の事業の一つとしてこの事業が実現いたしました。

これもここにお集まりの皆様方をはじめ、多くの方々のご指導・ご協力があったの事と感謝申し上げます。

この事業がアムナートチャルーン地域の青少年にとって、有意義なものと成るものと確信致します。

この事業は、我がクラブとしては5回目の事業ですが、この地域としては54回目という事で、この事業の重要性や意義の大きさを改めて感じる次第です。

3340地区・並びに3350地区のガバナーをはじめ、ロータリアンの皆様の労苦に対し心より敬意を表します。

私もこの事業に何度か参加させていただいて何時も感じる事は、タイ国の子供達の笑顔と目の輝きの素晴らしさです。これは、万国共通の事かとも思いますが、国を超えてタイの子供達とも楽しい関りがもてた事に深く感謝いたします。

生徒の皆様も、もし日本に来る機会がありましたら、ぜひ三島南ロータリークラブを訪ねてください。三島は皆さんもご存知の富士山が、日本で一番きれいに見える地域です。緑も水も子供達も大変素敵な所です。お待ちいたします。

第54回リサイクル自転車贈呈式に於ける挨拶

バンコクスリウォンロータリークラブ 会長 政岡勲
贈呈式議長殿

アムナートチャルーンロータリークラブの会長並びにロータリアンの皆様、そして来賓の皆様。

私、バンコクスリウォンロータリークラブ会長の政岡ですが、日本のリサイクル自転車の贈呈式に参列することに、非常に荣誉かつ喜ばしく思っているしだいです。今回の贈呈式は、私どもは3340地区のアムナートチャルーンロータリークラブのご協力をいただいて挙行了いたしました。

最初に、日本の社団法人「自転車駐車場整備センター」から自転車無償贈呈、並びにタイ国開発・福祉局には無税輸入並びに自転車組み立てに関して、収支ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。それと同時に、今回の自転車贈呈には日本の2620地区三島南ロータリークラブから多大なるご支援をいただいております。この式にも古屋会長ほか多くの方が参列されています。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。同時に2760地区の半田南ロータリークラブからも新美副会長以下多くの方が参列されています。併せて感謝申し上げます。

今回の第54回自転車贈呈は3350地区の「学童のための自転車委員会」の決議に基づき、アムナートチャルーン県の学校に寄贈されます。いろいろな面で援助が必要な地域です。多くの学童が家から学校まで長い距離を通学しています。

このような状況下にありますので、自転車の贈呈は、学童の通学が便利になるのは言うまでも無いことです。学童の勉強意欲を駆り立てることとなるでしょう。教育は国の発展の基礎となるものであり、将来の人材を育てるものです。

最後になりますが、アムナートチャルーンロータリークラブの皆様を始めとしたロータリアンの皆様が立派な贈呈式を開催されましたことに、心からありがとうございますと申し上げます。またこの式にご参列されています皆様に改めてお礼申し上げます次第です。

どうもありがとうございました。



Photo in Thailand



卓話

蔡飛君(2006-2007米山奨学生)

改革解放後の中国経済における レントシーキング現象の考察

キーワード

(日) 原始資本主義の段階 月 政敵 せいしょう 火 官倒 かんとう 水 全民経商 ぜんみんけいしょう 木 双軌制 そうきせい 金 融資難 ゆうしなん)

【資料1】

染谷太郎氏は『産業革命序説』(白桃書房 昭和51年)に、「前期的商業資本は、剰余生産物の最大の占有者である奴隷所有者・封建領主・僧侶・絶対主義君主等と取引関係を結び、彼らと接近することによって、オーソライズ(authorize)され、前期的商業資本の詐欺・瞞着もオーソライズされることになる。さらに、権力によって庇護された前期的商業資本は、いたるところで暴力的掠奪・海賊・奴隷盗奪・圧制等をくりかえしながら、正義の名の下に彼らの掠奪制度を完成する。このような基盤での利潤獲得の存続こそは、前期的商業資本存立の重要な前提条件である。」と指摘している。(88頁)

林達氏が、『イギリス革命の構造』(学文社、昭和40年)に、「…当時の支配的な生産・流通関係がゆきわたらない社会の隅に、また、それらの潮流にとりのこされた国王や大封建領主の陰に特権的独占権の寄生者として、前期商人が存在していたことは明らかである。しかし、彼らの社会的・経済的勢力は、大勢にとっては、ほとんど問題とならないもの

であった。彼らは相変わらず、そして古い封建的社会体制が崩壊してゆくにつれてますます、古い既得権に固執し、歴史の流れに逆らっても、自己の地位を保ち、強めようとした。これらの前期商人は、やがて革命の時に至って、『特権的な独占商人や金融業者』として、反革命の陣営に入る一部の商人となるのである」と指摘している。(21頁)

【資料2】

大塚久雄氏が、『近代資本主義の系譜』(学生書房、1947年)に指摘したように、利潤を求める資本は、産業資本を基礎とする資本主義以前でも、単なる商品流通および貨幣流通があれば商業資本や高利貸資本として存在する。これを前期的資本といい、マルクスは「資本の大洪水以前の形態」と呼んだ。資本主義では商品生産の一般的成立を土台にして、産業資本が剰余価値(利潤)を追求し、近代的商業資本や利子生み資本はその一部の分与に預かる。しかし、産業資本を欠く前期的資本は、共同体を土台とした生産諸様式に寄生して利得するしかない。それは、共同体間に発生する価格差や社会各層間の貨幣の偏在などを利用した譲渡利潤(前期的商業利潤)や高利の形をとり、価値法則の歪曲による不等価交換を本来の成立基盤とする。そこに詐欺や暴力などの経済外的契機が構造的に動き(経済外強制)存在のためには、権力と不可避的に癒着せざるをえないという根拠もある。

次回例会

12月7日(金)
年次総会クラブフォーラム

Photo Gallery



卓話の蔡飛君

